

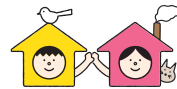


居場所を失った人への緊急活動応援助成

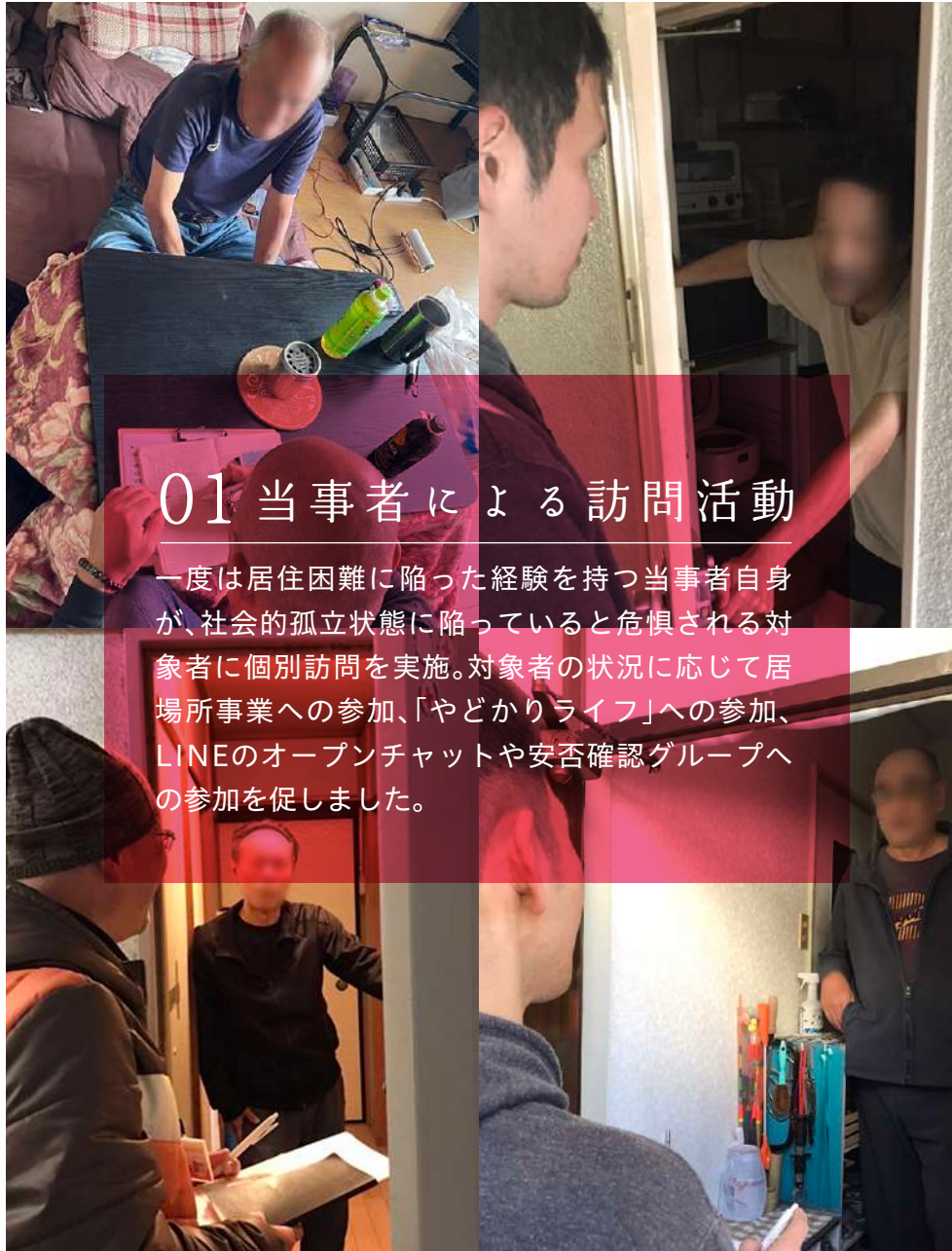
第8回 活動報告書



2025.01



住まいとつながりをすべての人に
NPO 法人 やどかりプラス



01 当事者による訪問活動

一度は居住困難に陥った経験を持つ当事者自身が、社会的孤立状態に陥っていると危惧される対象者に個別訪問を実施。対象者の状況に応じて居場所事業への参加、「やどかりライフ」への参加、LINEのオープンチャットや安否確認グループへの参加を促しました。

■ アウトリーチアンケート		年	月	日 () / 訪問者
訪問対象者 氏名 性別 居住先 住所	年齢 職業・特技 仕事など いつ頃から現在の状態に陥りましたか? 年 月頃から このあたりの特徴はありますか?	年	月	日
生活リズム 食事 寝る時間 好きな食べ物	起床時間 / 就寝時間 食事は1日何回・何食と食べていますか? 1日 回 朝食 回 昼食 回 夕食 回 お風呂は毎日入りますか? それとも入浴剤などで入っていますか? 好きな食べ物 嫌いな食べ物	時	分	秒
つながり 家族 友人 知人	よく使う連絡手段 □電話 □メール □LINE □その他() よくお話しされている方 必ず書き 字ばかりは、通話やLINEやグループを運営しています。 良かったら事務局に教えてください。	分	秒	分
その他	他に何回か伺い、どこかお出でされていますか? 交通手段はありますか?	分	秒	分

◆ アウトリーチアンケート



◆ 不在時に投函するチラシ

最初は対象者約140名を順に周るだけ周っていましたが、ミーティングを重ね、エリアと担当に分けるようにしたり、アンケートをデジタルにしたりと工夫して効率よく、月に1度、顔を合わせられる頻度を目標に実施しました。

◆ アウトリーチ訪問件数

3月	45件
4月	29件
5月	48件
6月	32件
7月	45件
8月	48件
9月	54件
10月	53件
11月	55件
12月	47件

ツナガル活動促進チラシ

活動内容をラインナップで掲載したチラシを配布し、参加を促しました。地域包括支援センターに協力を依頼し、より多くの「身寄り」のない方々に、知っていただけるようにしました。

住まいるとつながりをすべての人に
居場所を失った人への緊急活動応援助成

住まいるとつながりをすべての人に
居場所を失った人への緊急活動応援助成

やどかりプラス+の
ツナガル活動

NPO法人やどかりプラスでは、「地域ふくし連帯保証」を利用する方が、孤独・孤立状態にならないように当事者同士や地域の方々とながらうことができる暮らしをサポートしています。LINEでつながる「ヒトコエ」活動や、居場所サロン「CoCoDe(ココデ)」など、みなさまと一緒に取り組める活動をご紹介します。

Photo: CoCoDeカフェ @サザンエス鹿児島

1 安否確認 LINE グループ ヒトコエ

毎日、画面を開くだけでもOK! スマホで文字が打てなくても大丈夫です!

スマホでツナガル!

おはようございます。

※リーダーはメンバーの投稿を確認し、人数分の返信がついていれば返信確認が必要です。

3 リーダーは発言も返信もつかないメンバーがいたら、事務局へ報告。駆け付けに協力していただける方に動いていただくよう要請します。

投稿は基本的に1日1回、トークを楽しみたい方はオープンチャットにご参加ください。(裏面) 挨拶以外でもグループ内でしつこくするなど、アイデア次第で楽しく安否確認ができます。駆け付け協力者も随時募集中です。皆さまのご協力をお待ちしています。

住まいるとつながりをすべての人に
居場所を失った人への緊急活動応援助成

NPO 法人 やどかりプラス+ 099-800-4842 info@npo-yadokari.jp

表面

2 みんなの居場所 「CoCoDe -ココデ-」

毎週火曜日の16時から18時まで開催している居場所サロン。お茶とお菓子を囲みながらゆるい時間を共有しています。

Photo: CoCoDeカフェ @サザンエス鹿児島

3 支えあってツナガル! つながるファイルを書く会

支えあい、助けあい、見送りあい、弔いあう。

つながるあんしん事業は、当事者の互助を基盤とし、地域福祉が保証機能を提供する事業です。「身寄りがない当事者が地域と「つながる」ことで、病気になるたとき、亡くなったときなど、「身寄り」がないことで支障が生じやすい事業に陥っても、地域のなかまや支援者が困らないように、「つながるファイル」を書いてなかに託します。

Photo: つながるあんしん事業 参加者の集う会

4 ふれあい会食

毎月最終火曜日11:30~13:00

鹿児島市のふれあい会食事業を利用して、月に1度開催しています。家に閉じこもりがちな高齢者が会食を通じて交流する場です。(※お弁当代 200円 ※要電話予約)

住まいるとつながりをすべての人に
居場所を失った人への緊急活動応援助成

NPO 法人 やどかりプラス+ 099-800-4842 info@npo-yadokari.jp

裏面

1 安否確認LINEグループ「ヒトコエ」

毎日何か「ヒトコエ」掛け合って安否確認を行うためのLINEグループ。4~5人で1グループを作っており、現在5グループで運用しています。

2 みんなの居場所「CoCoDe -ココデ-」

毎週火曜日の16時から18時まで開催している居場所サロン。お茶とお菓子を囲みながらゆるい時間を共有しています。

3 つながるファイルを書く会・語る会

支え合って、助け合い、見送りあって、弔いあう。をテーマに互助を基盤とした地域福祉が保証機能を提供する事業です。

4 ふれあい会食

鹿児島市のふれあい会食事業を利用して月に1度開催しています。家に閉じこもりがちな高齢者が会食を通じて交流する場を提供しています。



02 地域グループ活動

地域ごとにアウトリーチ活動を進める上で、全体的な活動に参加いただくといことが、困難な方が多くいるとわかりました。そこで、主体的な互助活動をそれぞれの地域グループを形成することで、より継続的に活動の幅を広げていくことができると考え、各地域での集まりの機会を持ちました。

◆ 地域グループ活動実績

①	6月11日	カレーの会	唐湊地区	13名
②	9月3日	納涼そうめん祭り	唐湊地区	11名
③	10月20日	学生会館の集い	郡元地区	7名
④	10月22日	カレーの会	全体	16名
⑤	11月13日	プリンスの会	谷山地区	8名
⑥	11月27日	お好み焼きの会	全体	15名
⑦	12月10日	とその会	唐湊地区	8名
⑧	12月27日	年越しそばの会	全体	12名

各地区での参加人数が見込めるようになってきたタイミングで全体の集いも織り交ぜて開催しました。

◆ 告知

アウトリーチでの手配りチラシとLINEオープンチャットでの情報配信にて告知を行いました。





①

06/11

カレーの会



③

10/20

学生会館の集い



②

09/03

納涼 そうめん祭り



※8/27を予定していましたが台風のため延期しました。



④

10/22

カレーの会





⑤

11/13

プリンスの会



12/10

とその会



⑦



⑥

11/27

お好み焼きの会



12/27

年越しそばの会



⑧





03 当事者主体による やどかり公民館の運営

コロナ禍の影響で孤立状態に陥っている方々がつながりを取り戻し、社会の中で役割を回復するための「やどかり公民館」。そこで行われるサロン活動・つながるファイルを書く会・つながるあんしん事業参加者のためのサロンや、集いなどを当事者主体で運営しました。

【サロン活動】

◆ 居場所サロン参加者(のべ人数)

3月	4回	38人	平均 9.5人
4月	5回	58人	平均 11.6人
5月	4回	37人	平均 9.3人
6月	4回	32人	平均 8.0人
7月	5回	29人	平均 5.8人
8月	4回	28人	平均 7.0人
9月	4回	32人	平均 8.0人
10月	5回	46人	平均 9.2人
11月	4回	31人	平均 7.8人
12月	4回	29人	平均 7.3人



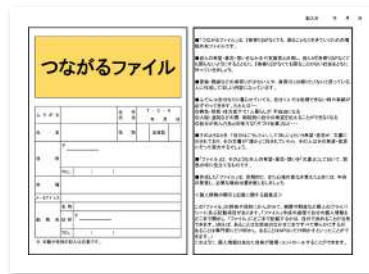
10月に引越しをしました。利用者内における認知を広げられるよう、その引越しに合わせて、名称を「CoCoDe-ココデ」に変更しました。入り口には看板を設置しました。





【つながるファイルを書く会・語る会】

入院や死亡といった身寄りがないために困難に陥りがちな事態に備える「つながるファイル」の作成する場と終末期医療について語り合う場を設けました。



人生の最期にどうありたいか。自分にとって何が大切なものかを自覚することができるゲーム。

◆ 参加者(のべ人数)

3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
8人	9人	4人	8人	6人	4人	7人	4人	6人	4人

【つながるあんしん事業参加者の集い】



入院や死亡時の対応を参加者どうしで行う事業である「つながるあんしん事業」参加者の集いを開催。合祀墓の見学などを行いました。